



しいば 議会だより

第75号
平成26年8月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL(0982)67-3209
FAX(0982)67-3500
村内無料電話767-0091



江藤農林水産副大臣へ要望

6月定例会 ……………(2)
一般質問 ……………(3~5)

常任委員会等調査……(6~7)
議会の動き ……………(8)

平成26年6月定例会

平成26年度一般会計補正予算は、

2億2319万6千円を追加

総額 **57億 1294万円**

平成26年度 特別会計補正予算額

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	△1,811	498,938
簡易水道事業特別会計	529	132,942
病院事業特別会計	△34	530,806
電気事業特別会計	△1,701	21,435
介護保険特別会計	7,070	366,188
後期高齢者医療特別会計	0	87,459
ケーブルネットワーク事業特別会計	249	71,618

6月定例会が10日開会

報告 1件・平成25年度椎葉村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

承認 1件・椎葉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案 16件・日向東臼杵いじめ問題対策専門家委員会の共同設置についてほか

平成26年7月臨時会

平成26年度一般会計補正予算は、

1920万円を増額

総額 **57億 3214万円**

7月4日に第2回臨時会を開会

承認 1件・平成26年度椎葉村一般会計補正予算について

議案 2件・林道 間柏原～中山線改良工事(1工区)の契約についてほか
(株)相生組 契約額 77,220千円

発議 1件・椎葉村農業委員会委員の推薦について
議会からの推薦を中竹直人氏を承認(松尾出身53歳再任)

村長に聞く!

～ 一般質問 ～



椎葉信紘 議員

質問 空き家活用による人口増対策

問 村の人口は近隣町村同様、減少の傾向にあり、国の人口動態率の推計では、2030年に約2,000人弱、2040

年には半数の約1,600人弱になると予測されている。

そうした観点から、周辺集落に数多くの民間の空き家が散在しているが、この空き家を活用できないか。現在、村内の民間空き家の実態を把握しているか伺う。

この空き家を、村が直接交渉し、可能な範囲、村で借り上げて必要な補修と整備を行い、地元出身のUターン者には当然、自然と親しみながらの生活を望まれる村外の方々や、田舎でも可能な近代のブロードバンド環境を生かしての個人起業家を含めたIT企業関連の方々に、借家として提供することによって、転入や誘致を促し、人口を一人でも増やす方を村行政として、将来に向けての人口減少に対する具体的な考え方を伺い、且つまた、村行政がみずから推進して取り組む考えはないのか尋ねる。

村長回答

答 制度のあり方など総合的な検討を図る

6月1日の現住人口が2,887人。

IターンやUターンによる人口減少抑制を図るために、空き家の活用も検討すべきと判断し、組合長の協力を得ながら調査を実施した結果、9つの公民館に、71戸の空き家情報が寄せられた。改善の必要なく居住可能が8戸、軽微な改修を必要とするが10戸、大規模改修が必要が30戸、改修困難が23戸という状

況が明らかになった。

このうち、情報提供が早かった22戸は、調査員により建物の間取り、飲料水の状況、農地の優遇、所有者による管理状況など詳細な調査を本年3月までに実施した。今後、所有者の意向や登記情報など、活用可能な最終的な確認を行うこととしている。残り49戸も、軽微な改修で居住可能なものを対象に調査を行う。

移住や誘致は、県、宮崎大学、旧フォレストピア圏域の5町村による中山間地域政策共同研究事業の研究テーマの一つとして、昨年度より研究を行って、今年度はより具体的な協議を予定している。

空き家の利用を生かすように、制度のあり方や情報提供する、いわゆる空き家バンクの設置など、総合的な検討を図っていく。





河口吉弘 議員

質問

村民生活の安心・安全のための施策

問 直近のAED自動体外式除細動器の設置状況及びその管理状況について伺う。

ある報告書で、心肺停止の発生場所の75%が自宅、公共スペースが10%、医療関係施設等が12%と報道され、心肺停止から6分経過すると救命率は70%弱、9分超えると10%未満と言われている。

高齢化が進行している中で、AEDの計画的な設置とAEDの働きと一体的な心肺蘇生法の普及を図っていくべきではないか村長の見解を伺う。



村長回答

答 維持管理だけでなく、使用する応急手当の普及を図る

公共施設18カ所に設置、今後は消防団への配備を計画的に実施したい。また、公共施設以外にも平寿園や尾手納集会センター、甲斐建設など独自で設置しているところもある。

実際に使用する可能性のある地域住民へ適切な救命措置を行っていくために、平成22年度に救命講習用のレサシアン(心肺蘇生訓練用のマネキン)を1体、AEDシミュレーションの2器を購入し、平成23年度と25年度には応急手当を普及取得のために日向市消防署で3日間の講習に派遣し19名の普及員を養成している。

地域の安全協議会や学校での職員、PTAへの講習要請へ普及員を派遣し、社会福祉協議会が行う救命講習、村の防災訓練や消防団の移動消防学校での救命講習等を実施し、適切な使用ができるよう応急手当の周知を図っている。

また、昨年度から救急救命講習受講が必須の防災士

を3ヶ年で15名程度養成計画し、地元での地域防災はもとより、応急手当ができるリーダー育成を行い、適切な維持管理だけでなく、実際に使用する応急手当の普及を図る。

広大な面積を有する本村は時間との闘いであり、救急に対する体制の充実を図り、村民が安心して暮らせる村づくりを進めていく。

河口吉弘 議員

問 村道・林道等の、のり面の危険箇所の調査点検は、3月定例会で質問したが、加えて、道路周辺の伐採により、車両や人の通行時に転落の危険がある箇所の安全管理、ガードレール等の安全施設を速やかに設置するなど、村民生活の安心・安全のための施策を早急に講ずるべきと考えるが村長の答弁を求める。

村長回答

答 村道・林道合わせて約710kmにも及ぶため、状況把握に苦慮し、住民が日頃から生活面で利用されている村道・林道で、のり面の崩壊のおそれがあるところ、また落石が頻繁に発生しているところ等の情報提供を5月に区長、組合長に配布した。

現地の状況を確認調査し、危険部のランクづけを行い、利用度の高い幹線道路や危険度合いが大きいところなどを参考に、優先度を考慮して予算的に少額なものは維持工事等で、工事金額が大きいものは補助事業等を活用しながら、計画的に整備を進めていく。

また、道路沿いの山林を伐採し立木がなくなり、車両通行等に危険性を生じたものは、県単・村単独の安全施設工事により施工している。延長が長い区間は、危険度が高い場所から継続的に施工している。

少ない予算であるが、地域の要望を取り入れながら、有効的な活用を図っていく。





岡村正司 議員

質問 在宅高齢者の孤立化防止について

問 高齢者に対する孤立防止策と、現在どのような取り組みが進められているのか。

高齢者支援施設として、託児所ならぬ託老所、これは、家族の方が朝施設に送り、夕方迎えに来る。また、送迎車を施設管理で行うなど、昼間家庭に一人にしないで仲間と一緒に過ごす場所とする。

もう一つは、民間事業の協力により、高齢者見守り推進として椎葉村社会福祉協議会に加え、郵便局、宅配業者と事業協定を締結し、宅配時などに高齢者の異変に気づいた事業者が、社協、椎葉村と連携して、高齢者の地域での暮らしを見守る事業としての開設を提案し村長の見解を伺う。

村長回答

答 高齢者と直接接するソフト面の対策を主に実施

65歳以上の高齢化率は5月1日現在、約39%、75歳以上の後期高齢化率は約25%で、4人に1人が75歳以上。約1,250世帯のうち、65歳以上の高齢者のみの世帯は420世帯で、全世帯の約34%、そのうちひとり暮らしは230世帯で約18%。5世帯に1世帯近くが高齢者のひとり暮らし世帯となっている。

高齢者の孤立防止策や取り組みは、民生委員による訪問や声かけ、介護相談員や聞き耳隊による定期的な訪問活動、社会福祉協議会による配食サービスやサロン事業、包括支援センターによる認知症予防教室や運動教室などを通して、高齢者の状況把握、孤立を含め、対応が必要な高齢者の情報を得た場合には、関係スタッフがすぐに動いている。さらに、地域ケア会議で対応の必要な高齢者の情報を共有し、サービス支給の決定などを行い、関係機関で連携して対象者に直接支援している。

このように、高齢者と直接接するソフト面の対策を主に実施しており、高齢者施設は特別養護老人ホームの改築を行うほかには、施設等の整備は予定していない。

また、本年2月に県と社会福祉協議会が、電気、ガス、宅配などの民間事業者と協定を締結した「みやざき地

域見守り応援隊」は、県内全地域を対象とした見守り活動で、民間事業者が日常の業務で訪問先の何らかの異変を察した場合には市町村へ通報し、関係機関の職員が安否確認等をする仕組みになっており、村も推進機関として既にその取り組みの対象となっている。

全国的に高齢者の孤立死が社会問題化している中で、高齢者を孤立させないよう、村独自の「かて〜りの仕組み」を残しながら、村民と一体となって高齢者の見守りをやっていく。



県道上椎葉・湯前線整備促進協議会総会(5/9) 要望活動(7/30)

日向市・宮崎市

5月に尾八重、不土野、尾向地区の各区長・組合長参加して総会を開催し、7月に県土整備部長、日向土木事務所長に改良整備について要望を行った。

今年度も改良工事を計画し、さらに次年度以降の工事計画に向けた用地交渉等も実施する回答があり、協議会としても協力しながら促進していきたい。



第39回全国町村議会議長研修会(5/27)

東京都

全国729町村議長・副議長・事務局長約1,500名参加して開催。

山梨学院大学江藤教授より「住民と歩む地方議会」と題しての講演、「これからの町村議会のあり方」についてのシンポジウムと、研修会のテーマとして、民俗研究家結城氏より「地域づくりを考える」、ジャーナリスト後藤氏より「日本経済の現状と今後の行方」と題した講演が行われた。

また研修会前後には、議会制度調査検討委員会、県選出国議員との意見交換会も開催された。



宮崎県乾しいたけ生産者大会(6/5)

西都市

- ・宮崎県産しいたけのブランド確立と消費拡大を図ろう
- ・系統共販を推進し価格の安定を図ろう
- ・生産基盤の整備を図り、高品質なしいたけづくりを進めよう
- ・トレーサビリティ確立の推進を図ろう

以上を大会スローガンにかかげ開催された。

品評会では、団体優勝 椎葉村

個人賞 袋物 優等 山中誠さん(香菇)

山本司さん(茶花冬菇)

中竹直人さん(天白冬菇)

箱物 優等 山中誠さん(香菇)

各受賞おめでとうございます。

技術研修では、西米良村の中竹智和氏より、「私の考えるしいたけ栽培」、気象予報士の半井小絵氏より、「農業と気象」の講演が行われた。



国会要望(6/18)

東京都

江藤農林水産副大臣へ、「有害鳥獣による農林業被害への対策」、「森林・林業・木材産業の振興対策」について要望し、農林水産省幹部職員との意見交換会も行った。

鳥獣被害対策交付金事業では、対象農地の受益戸数が3戸以上、農地が隣接などの条件があり、椎葉村では地理的条件から難しいので、要件の緩和について要望した。また、木材価格、しいたけ価格の低迷についての早急な対策を講じるよう要望した。

国土交通省道路局次長、企画課長、防災課長へ、村内国道3路線の改良整備促進についても要望した。



入郷地域開発期成同盟会総会(6/27)

美郷町

椎葉村、諸塚村、美郷町3町村で構成する期成同盟会総会を開催。知事をはじめ県議会議長、日向土木事務所、東臼杵農林振興局、西都土木事務所などの県機関に対して15項目の要望事項を決定、実現を目指して要望・陳情活動を行うこととした。

椎葉村は、「有害獣による農林業被害対策」、「ひむか神話街道の改良促進」、「林道橋の修繕対策」、「林業従事者の育成と確保対策」、「地上テレビ放送のデジタル化に伴う交付金制度の充実」についての5項目の要望とし、7月18日に関係町村と一体となって県出先機関へ要望活動を行った。今後も要望事項の早期実現のために引き続き取り組んでいきたい。



日向～人吉間一般国道(388・446号)整備促進期成同盟会総会・要望活動(7/16)



宮崎市

地方道路の整備の遅れた地域への予算確保と、道路整備の計画的推進、効果的かつ効率的な道路整備の実現を総会決議とし、県土整備部長、県議会議長へ要望した。

東臼杵郡議員研修会(7/28)

日向市

昨年度新築移転した日向警察署内で、刑事第二課濱砂警部補より「特殊詐欺の防止」、片岡署長より「防災講話」の講演を、東臼杵郡内議会議員全員参加し開催された。

最近、新聞等で報道されている特殊詐欺(振り込め詐欺)について、全国、県内、日向管内の発生状況や防止対策の取り組みについて説明を受け、被害の多くが高齢者であり、私たち身近な人達にも被害に遭わないよう呼びかけていきたい。



議会の動き

編集後記

この夏、異常な猛暑日が続
き、全国で熱中症により搬送
された方、亡くなった方が、例
年より増すといった異常な状
況であり、また社会全般に過
去に経験のない事が頻繁に
起きています。

自然が人類に警鐘している
のではと考えさせられます。

これからまだまだ残暑が続
き、集中豪雨や台風による自
然災害等が心配されます。村
内においても、いついかなる
時に発生するかもしれない災
害に対し、万全な行動がとれ
るよう、まずは一人一人が、自
分の身は自分で守る努力をす
る、自助の心構えを持って、事
前に防災対策に取り組むこと
が必要だと感じてやみませ
ん。

安心安全な村づくりに皆で
取り組みましょう。

季節柄、皆様方には健康管
理に留意されご自愛ください。

岡村 正司



議会を傍聴 しませんか？

9月定例会は、9月9
日開会予定となってい
ます。

《お問い合わせは議会事務局》
TEL 67-3209
FAX 67-3500

議会だよりは村ホームペー
ジでもご覧いただけます。

5月

8日	東白杵郡町村議会議長会	日向市
9日	区長・区長代理・組合長総会	開発センター
	県道上椎葉湯前線整備促進協議会総会	開発センター
11日	扇山山開き	松木
12日	椎葉村観光協会理事会	役場
13日	日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会	日向市
15日	宮崎県議長会役員会	宮崎市
16日	椎葉村社会福祉協議会会計監査	すこやか館
17日	椎葉村PTA連絡協議会総会	役場
19日	東九州自動車道建設促進宮崎県央北部期成会総会	延岡市
20日	入郷地域開発期成同盟会役員会	役場
22日	椎葉・矢部・砥用線整備促進期成同盟会総会	役場
23日	東白杵郡監査委員協議会定期総会	日向市
	椎葉村国民健康保険運営協議会	すこやか館
	椎葉村社会福祉協議会理事会	すこやか館
	椎葉村観光協会総会	役場
	危険箇所調査	村内一円
26-27日	例月監査	監査委員室
26日	宮崎県市町村振興協会理事会	宮崎市
26-29日	第39回全国町村議会議長・副議長研修会及び県選出 国会議員へ要望活動	東京都
31日	みやざき県民総合スポーツ祭総合開会式	宮崎市

6月

2日	一ツ瀬川水系濁水対策評価検討委員会	宮崎市
3日	議会運営委員会	委員会室
5日	宮崎県乾しいたけ生産者大会	西都市
6日	平家まつり実行委員会	役場会議室
10日	6月議会定例会	議場
18-21日	国会要望・政務調査	東京都
22日	女性スポーツ祭	総合体育館
23日	日向東白杵広域連合議会運営委員会	日向市
	宮崎県森林・林業活性化研究委員会	宮崎市
24日	九州各県町村議会議長会会長会	熊本市
	例月監査	監査委員室
25日	地域づくり懇談会(梶尾・大河内)	梶尾・大河内
26日	地域づくり懇談会(松尾・上椎葉)	松尾・上椎葉
	宮崎県町村議会議長会役員会	宮崎市
27日	地域づくり懇談会(仲塔・鹿野遊)	仲塔・鹿野遊
	入郷地域開発期成同盟会総会	美郷町
28日	消防夏季大会	椎葉小
30日	地域づくり懇談会(尾八重・小崎)	尾八重・小崎
	宮崎県北部地域町村議会議長連絡協議会総会	役場

7月

1日	日向東白杵広域連合議会	日向市
4日	第4回議会運営委員会	委員会室
	第5回全員協議会	委員会室
	第2回臨時議会	議場
	村営間柏原発電所更新工事安全祈願祭	間柏原発電所
	国道388号(門川~椎葉間)整備促進期成同盟会総会	門川町
6日	体力づくりバレーボール大会	体育館
7日	椎葉村雇用対策協議会	役場
8日	地域づくり懇談会(尾向・不土野)	尾向・不土野
14日	九州中央自動車道建設促進協議会	熊本市
15-17日	都道府県町村議会議長会臨時総会	東京都
16日	日向~人吉間一般国道(388・446号)整備促進期成 同盟会総会・要望活動	宮崎市
17日	全国森林環境税創設促進議員連盟役員会・第21回定期総会	日田市
18日	入郷地域期成同盟会要望活動	県出先機関
23日	議会運営委員会正・副委員長研修会	宮崎市
24-25日	例月監査	監査委員室
24日	東白杵郡町村議会議長会	鹿屋市
25日	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会総会	宮崎市
	宮崎県鉄道整備促進期成同盟会総会	宮崎市
	みすず会	宮崎市
26日	日向支部消防操法大会	日向市
27日	東白杵郡婦人スポーツレクリエーション大会	美郷町
28日	東白杵郡町村議会議員研修会	日向市
30日	県道上椎葉湯前線整備促進協議会要望活動	日向市・宮崎市